

櫻守の会

2026年7月号

2026年7月1日(通巻326号)
発行：櫻守の会代表 清水 厚真
〒665-0805 宝塚市雲雀丘1-10-38
会員数 83名(6月25日現在)
HP：<https://www.sakuramori.net/>

会員の特殊技能を発揮した“花と緑のフェスティバル”

近藤 茂

市と市民が一体となって「花と緑にあふれた魅力ある宝塚にすること」を目的に、宝塚市と花と緑の協会共催の“花と緑のフェスティバル”が毎年4月末(2日間)に末広中央公園で開催されていた。花や庭木の即売会、各種サークルや子供会のステージでの発表、各種団体ブースでの展示やゲーム、消防自動車の展示、市内全地域の“だんじりパレード”などに多くの市民が集まって楽しんでいて、1993年に第1回が開始されて2019年まで行われたが、櫻守の会は2001年から参加している。櫻守の会は参加団体で最も大きいテントを借りて、パネル展示・子供向けの無料のお遊び体験・手作り作品のお手頃価格販売を行っていた。当時は特殊技能を持った会員が大勢いて、彼らが1年かけて作り上げた素晴らしい作品を会に無償で提供して頂いた。櫻守の会のテント前はいつも満員で、最も人気の高いブースの一つであった。



櫻守の会のブース前は順番待ちの行列

無料の子供向けのお遊び体験：どんぐり工作、ビニール凧、ノコギリ体験ワッペン作り

安価販売をした手作り作品：良く飛ぶ竹とんぼ、桜を使った鯉のぼり等の工作品、小さな竹笛、
布草履(ぞうり)、一木作りの工芸品、桜のペーパーナイフ

どんぐり工作・・・Nu氏発案：おおきなマテバシイと小さなコナラと動眼を使って可愛い小鳥を作成。

ビニール凧・・・Na氏発案：半透明のビニールフィルムに“どらえもん”等のアニメをマジックインキで書き、2本の竹ひごを取り付けた後、10mのタコ糸を取り付けた。毎年大人気で、100個/日の限定数量が昼過ぎには無くなって泣く子供も、開始1時間前から並ぶ子供もいた。

良く飛ぶ竹とんぼ・・・Ka氏発案：8~10cmの小さな軽い竹とんぼであったが、10秒近くも飛んだ。航空力学を取り入れた優れ物で、治具を使ったマニュアルを作成して大量生産を可能にした。

桜枝を使った鯉のぼり等の工作品・・・Ta氏発案：Ta氏は手先が器用なアイデアマンで、いろいろな木材や金属材料を使って、鯉のぼり・懸垂マン・鳥の巣箱など普通の人ではでは考え付かない特異な作品を多く作成した。

小さな竹笛・・・Ki氏発案：まん丸の篠竹を使って5cmの竹笛を作り、吹き方の指導付きで販売した。

布草履・・・Ni氏発案：着物の絹地で作った大人が履く草履の他に、5cmのミニチュア草履も人気。

【近藤茂の挑戦】

竹とんぼ・・・ネットで調べたりして“これぞ!”という自信作を削り出して作成してKa氏に挑戦したが、一度も勝てなかった。“削り出しでは同じ物を作ることが難しい”と言う難点もある。

竹笛・・・Ki氏から良く鳴る笛を1個もらい、“これを見本にして作りなさい”と言われて、何個か作成した。どうにか鳴るものが出来たが、Ki氏の作品ほど見た目も良い音色も出なかった。

ビニール凧・・・技術が余り要らないビニール凧作りに専念した。径2mmの竹ひご400本を作るのが大仕事で、山手台の節間隔が30cm以上ある真竹を使用して2ヶ月以上かけて準備した。

【感想】“花と緑のフェスティバル”が開催されなくなって早や7年、特殊技能を持った皆さんの実力を発揮する場がなくなってしまった。この間に鬼籍に入った方も何人かいる。“花と緑のフェスティバル”は櫻守の会の会員が一堂に集まり、纏まりを感じさせる良い場でもあった。寂しい限りである。

***** 目次 *****

- P1 序文：会員の特殊技能を發揮した“花と緑のフェスティバル”
 P2 2026年6月度活動実績表
 P3～5 活動報告：桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、廃線敷草刈り
 P5～6 お知らせ・案内：運営委員会報告、宝塚市環境パネル展、会員動向
 P6～8 櫻守ひろば：活動地の園路紹介（5）山手台「なぜ南斜面にササバザクラが多いのか」、
 怖いツル性の木「テイカカズラ」
 P8 活動予定表

< 2026年6月度 活動実績表 >

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
5月24日 (日)	桜の園・亦楽山荘 17名	晴れ	(外周路)四辻～ササラ沢の倒木除去等	3
			(桜の尾根及び作業道)サクラと常緑樹の間伐による日照改善	4
			(桜坂)草刈りと園路整備	3
			(城ヶ丘周辺)保全整備等	4
			(廃線敷き入り口川側斜面)アラク等常緑樹の間伐	3
5月27日 (水)	青葉台 9名	小雨	(青葉台口～陽光広場) 笹、草刈り	7
			(陽光展望台用階段) 腐食した階段横木の更新	2
5月28日 (木)	桜の園・亦楽山荘 16名	曇り	廃線敷草刈り 刈り払い機8台	16
5月30日 (土)	ぶらざこむ1 7名	—	6月号会報印刷・発送	7
			5月度運営委員会	
6月3日 (水)	桜の園・亦楽山荘 6名	曇り	(外周路)台風6号被害の調査パトロール	3
			(内周路)台風6号被害の調査パトロール	3
6月7日 (日)	武庫山の森	雨	雨天で活動中止	—
6月11日 (木)	ゆずり葉の森 21名	晴れ	(イチヤクソウの丘) コナラの間伐	5
			(腕白原っぱ、トングリの丘) クスノキ、常緑樹間伐	6
			(イチヤクソウの丘～西逆瀬台口) 急傾斜梯子部前後の階段化	4
			(県宝谷平、トングリの丘) 笹、草刈り	6
6月16日 (火)	山手台 21名(2名)	曇り	(COKOセンター) 草刈り	9
			(山手台南公園) 倒木の処理、枯れ木および繁茂した樹木の間伐	9
			(南斜面) オオキンケイギクの駆除	3
6月18日 (木)	桜の園・亦楽山荘 21名	晴れ	(遠見の道)枯松等枯木倒木等の処理、常緑樹の間伐、シダ刈り	8
			(赤松展望所～つつじが丘展望所)桜周り、園路の常緑樹間伐	5
			(桜坂、東屋手前の水平道)イロハモミジ移植7株	6
			(親水広場)常緑樹の間伐	2
6月18日 (木)	桜の園・亦楽山荘 15名	晴れ 後曇り	(桜坂)草刈りと園路整備	10
			(内周路)樹名板確認と追加	3
			(廃線敷)長尾山第1～第2トンネル間のアオキを中心とした常緑樹伐採	2
6月20日 (土)	武庫山の森	雨	雨天で活動中止	—
延べ参加人数				116

桜の園 (亦楽山荘)

5/24(日) 外周路(四辻～ササラ沢)では、園路上および園路脇にある中小径の倒木や枯れ木、落下枝の玉切り・移動を行い、ササラ沢に至るルートを安全に通行できるよう整備しました。桜の尾根では、密集したサクラの間伐を行うとともに、常緑樹などの伐採・間伐により日照を改善しました。前回に引き続き行った桜坂の草刈りは、中段のヤマザクラ倒木の上部まで作業が進んでいます。また、下段の園路トリカルネット周辺は、繁茂した草によって園路幅が狭くなっていたため、トンガで掘り起こして拡幅しました。こちらは鉄筋杭が入手でき次第、横木を追加する予定です。その他、城ヶ丘周辺の整備も行いました。イナモリソウやイチヤクソウなどの開花が確認できました。



外周路 中径コナラ倒木の玉切り



桜坂 草刈り



桜坂園路の拡幅

6/3(水) 台風号6号は明け方に兵庫県に最接近で、7時頃まで風雨が強かったですが、次第に弱まって来ました。9時過ぎには雨が止み、朝礼の時間には猛者6名が参集しました。直前まで風雨が強く、通常作業は危険と判断し、相談の結果3名ずつの2班で、台風被害の調査パトロールをすることにしました。1班は、遠見の道→つつじヶ丘展望所→ササラ沢→満月瀧→滝見の道の主に外周路を回り、2班は、城ヶ丘→隔水亭→東屋→林間広場→桜の尾根の主に内周路の調査パトロールを行いました。ササラ沢、満月瀧や園内の沢は、増水して迫力がありました。2班とも、直ちに処理の必要な倒木や園路の損傷はなく、12時半に親水広場に無事帰着し、昼ご飯を食べ、13時前に解散しました。



親水広場木橋の増水した沢



増水したササラ沢



迫力ある満月瀧

6/18(木) 宝塚市提供の資材を親水広場から遠見倉庫まで荷上げするのに時間を要しました。6/11以降、活動地近隣でツキノワグマの出没情報があり、熊に人間が近くにいることを知らせるため、在庫していた熊鈴5個を会員に配布しました。ホイッスルは既に全員へ配布済みです。単独での作業は避けるよう安全対策を徹底しました。前回は雨天のため実施できなかった桜坂の草刈りと桜坂園路下段のステップ改修も行い、新たに8段を追加しました。蒸し暑く、体力を消耗する作業でした。前々回に引き続き内周路の樹名板の確認と追加を行ったほか、長尾山第2～第3トンネル間の廃線敷脇のアオキを中心とした常緑樹の間伐を実施しました。暑さなどを考慮し、通常よりも少し早く作業を終了。15時前に終礼を行い、解散といたしました。(瀧本 記)



熊鈴配布



桜坂での階段増設



桜坂での草刈り

青葉台

5/27 (水) 朝から小雨がパラツキ、降水確率の高い天気予報に、参加者は9名と少な目だったため作業は陽光広場を中心とした草刈りと木製階段の腐食した横木と杭の更新に絞りました。草刈りは刈り払い機3台と手鎌等にて青葉台口～小林南大堰堤上下の平坦斜面及び陽光展望台南端～陽光広場南奥部が片付いた11時頃から雨が激しくなったため作業を止めました。(加賀野 記)



小林南大堰堤上側斜面の草刈



陽光広場南奥緩斜面の草刈



陽光展望台への階段の木製横木、杭の更新

ゆずり葉の森

6/11 (木) 梅雨入りし大分蒸し暑くなってきました。参加者が21名と久しぶりに20名以上に達し4班に分かれ作業しました。① 1班は活動地奥部のイチヤクソウの丘で前回(5/13)作業中の雷雨で作業を中断した中径背高コナラの玉切り、枝葉処理を行った後丘周辺部のコナラを伐採し、② 1班は県宝谷平で根元直径約30cmのサクラ倒木を玉切りした後、腕白原っぱとドングリの丘で中径のクスノキと松の伐採及びウバメガシ等常緑樹を間伐し、③ 1班は刈払い機と手鎌等で白瀬川支流の川床や川岸及び県宝谷平及びドングリの丘白瀬川源流川岸の笹等刈り取り、④ 1班はイチヤクソウの丘上部～西逆瀬台口間登山路でステップ新設6段、路肩6.5mの改修を行いました。(加賀野 記)



イチヤクソウの丘でコナラの玉切り



県宝谷平の根元直径約30cmのサクラ倒木



イチヤクソウの丘～西逆瀬台口間登山路の路肩改修

山手台

6/16(火) 本日は年2回実施予定のCOKOセンターの草刈りです。地球温暖化のせいかわるくなる日が早まっている上に2月以降適度の降水量もあり、オオキンケイギク、クズ、イタドリを始め多くの草が伸びて刈り取りも大変でした。多人数に担当してもらい何とか終わることが出来ました。他の班は、先日の台風による倒木の処理、枯れ木や繁茂して暗くなっている樹木の間伐をしました。また北斜面や南斜面でオオキンケイギクの駆除をしましたが、今日はあまり人員を投入できず一部分しかできませんでした。

とにかく蒸し暑く大いに汗をかきました。皆さんご苦労様でした。

(岡 記)



COKOセンター；
生い茂った草を刈払い機で



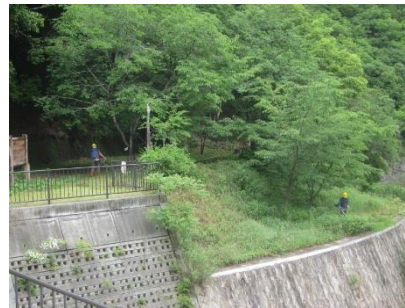
COKOセンター；
生い茂った草を手刈りで



山手台南公園；倒木の処理

廃線敷草刈り

5/28(木) 今年度最初の廃線敷草刈りを実施しました。毎回同様に、刈り払い機8台を使って、4班構成で作業開始しました。草の伸び具合は、廃線敷入口周辺はよく伸びていたため、予定時間にギリギリで完了しました。それ以外はあまり伸びは多くなく、各班共に順調に推移しました。12時には、予定通り現地撤



よく伸びた草を綺麗に刈取り



枕木の間の草も丁寧に刈取り

収し広場に帰着し、片付け後12時40分に終りました。今回の草刈りで廃線敷はきれいにスッキリし、多くのハイカーにハイキングを楽しんで頂けると思います。

(清水 記)

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告 (2026年5月度)

代表 清水 厚真

2026年5月30日(土) 9:40~12:00 ぷらざこむ1

1. 活動地トピックス

- ・武庫山の森の道路沿いの草刈りの際、道路に石が跳ねて人や車に当たる恐れがある。山手台でも同様な箇所があり、危険性の注意喚起が必要である。
- ・7月28日まち協主催の工作教室のイベントがあり、武庫山の森の伐採木の切れ端などの工作材料を提供したいとの提案があった。承認とするが、少ない種類の樹の提供は、限度があることを承知されたい。

2. 総会の振り返りと今後の改善点

ほぼ予定通り推移した。今後の改善点として、第2部の自由討議は好評のため、第1部の時間を短縮し有効に活用するため、伝えることに絞った資料にしてはどうかとの意見があった。

3. その他

>生物多様性の観点からみた櫻守の会の活動のあり方についての討議を行った。

・最近の活動では、A（森を明るくしたいグループ）、B（環境を余り変えたくないグループ）の2極化しているので、特にBグループからの活動方法への不満が出ている。運営委員会として、活動のあり方についての討議を行った。

・櫻守の会の長年の活動実績に基づく、A・B双方の意見（主張）が出た。Bの守りたいのは草本類が多くあり、伐採による環境変化が悪影響を及ぼしかねないとの主張は理解されてもよいと思われる。また、学術的な里山林の遷移に基づき活動すべきとの意見もあった。

>継続審議であるが、次の2項を実施する

- ・幹事間の共通認識を持つため、意見集約の仕組みを講ずべき
- ・伐採し過ぎの箇所について、緊急回避のため作業中止すべきエリアの指定をする。廃線敷の一部など。

宝塚市環境パネル展のご案内

運営委員会

環境都市宝塚推進市民会議主催の環境パネル展が、下記の要領で開催されます。

櫻守の会も出展しますので、是非ご覧ください。

場所：宝塚市立中央公民館ホワイエ

宝塚市末広町3番53号 電話：0797-73-6600

期間：令和8年（2026年）7月27日（月）13時30分 ～ 8月3日（月）13時00分

会員動向

事務局

新入会員：中西 慶さん、小寺 一成さん よろしくお願ひします。

< 櫻 守 ひ ろ ば >

活動地の紹介（5）山手台 「なぜ南斜面にササベザクラが多いのか」

岡 敏明

山手台の南斜面に約15本のササベザクラが育っています。隣の長尾幼稚園にも同じく約15本のササベザクラがありその周囲にも数本あるため、この地域で合計40本弱のササベザクラがあります。バス道路からは幼稚園の一部のササベザクラが見えるだけで後は南斜面や幼稚園に入らないとよく見えないのが難点ですが、毎年大きくなって花も多くつけるようになりました。これだけのササベザクラがあるのは宝塚市内で一番、日本では島根県雲南市にダントツの約500本のササベザクラが植えられていますが、その次の何か所かと同程度です。

なぜここにこんなにたくさんのササベザクラがあるのでしょうか。

それは当会がササベザクラの苗を購入し、2004年および2005年に合計70本を山手台南公園に植えたのが始まりです。（ちなみに桜の園には'03年に60本植樹）

2012年にササベザクラを植えた公園の一角が長尾幼稚園の敷地に転用されることになり、幼稚園建設予定地の周囲に桜は残されましたが、2013年に余った桜を櫻守の会員が南斜面に植えました。その時点でもかなり大きくなっていましたので、業者に重機で掘り起こしてもらったものの、あとは会員が新たに購入した一輪車を使って南斜面まで運び“大きな”穴を掘って植樹したそうです。

今ではさらに大きく育ってきていますので、多くの人に見てもらえるよう景観の邪魔になる樹木を伐採したりして見栄えをよくしたいと思っています。



南斜面のササバザクラ



ササバザクラの花

怖いツル性の木「テイカカズラ」

さくら守太郎

6月18日の桜の園の活動日に、園内を歩いていたらあちこちに3cm位の白い5弁のスクリー型の特長ある可愛い花が落ちていた。これはツル性の木本「テイカカズラ」の花であり、5月中旬から6月中旬まで咲く。桜の園では廃線敷や園内のどこにでもある普通の樹木であるが、特に滝見の道に沢山あって間近に観察することが出来る。

種子は12月頃に5cm位の種髪と言う綿毛を付けて、風に乗ってフワフワと飛んで来る。運良くこれを見た時は、とても幻想的な素晴らしい気分になる。



テイカカズラの花



テイカカズラの種髪

「テイカカズラ」の名は、新古今和歌集や小倉百人一首の選者であり、数年前に「源氏物語」の写本「定家本」で話題になった鎌倉時代初期に活躍した歌人「藤原定家」から付けられた。「歌人の定家の名前が付けられている植物なので、きっと優雅な謂れがあるのだろう」と思い勝ちであるが、実際は大変怖い話から付けられた名前である。後白河天皇の第3皇女である式子内親王に仕えていた藤原定家が、式子内親王に恋慕の情を抱き、式子内親王が亡くなった後そのお墓に葛(かずら)となって巻きついた、と言う伝説によるもので、謡曲の「定家」の題材にもなっている。

実際の「テイカカズラ」は樹木に巻き付いて、その木を枯らしてしまう怖い木でもある。2025年1月に天神川堤防付近の住民から「堤防に桜(ソメイヨシノ)の木があるが、ツルが巻き付いて咲かなくなりました。なんとか救い出して欲しい」との要望が宝塚市を通して当会に来た。ツル性植物は「テイカカズラ」であり、ソメイヨシノのほぼ70%を覆い被さっていた。そこで約10名の有志が集まって、2日間に分けてツル植物の除去に取り組んだが、ツルで覆われた枝は既に枯れていて、生き残ったのは約30%のみであった。作業終了後の3月末に、生き残った桜の枝に花を付けた。本当に怖い「テイカカズラ」である。



ツルに覆われたソメイヨシノ



生き残った桜の枝に花が咲いた

< 活動予定表 >

月別行事予定表

7月		場所等	8月		場所等
7月2日	木	ゆずり葉の森	8月2日	日	武庫山の森
7月5日	日	武庫山の森	8月6日	木	桜の園（廃線敷草刈り）
7月14日	火	山手台	8月11日	火	ゆずり葉の森
7月16日	木	桜の園（亦楽山荘）	8月13日	木	廃線敷草刈り 予備日
7月23日	木	青葉台	8月18日	火	山手台
7月25日	土	会報印刷/運営委員会	8月26日	水	青葉台
7月26日	日	桜の園（亦楽山荘）	8月29日	土	会報印刷/運営委員会
			8月30日	日	桜の園（亦楽山荘）

夏場（7～9月）期間は下記の活動とします。

武庫山の森：1回/月（第1日曜日のみ）、桜の園：2回/月とする。

廃線敷草刈りは、5月、8月、10月の平日の活動日の1日を当てる。予備日を設定する。

集合時間：桜の園（亦楽山荘）親水広場9時50分、他の4活動地は9時30分。

天 候：当日朝 6時55分NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60%以上の時は中止します。

【編集後記】会報7月号をお届けします。活動地の近くでクマの出没情報が盛んに発信され、驚いています。道場で発見され、その後に生瀬・宝塚の住宅地・・・廃線敷沿いで桜の園活動地に接近していないかと心配になります。とりあえず、手持ちのクマ鈴を配布しました。里山を歩くときは、単独での行動は避ける、出会い頭は双方がパニックになりますから、鈴やラジオなど音を出すなどの備えをしたいものです。 (清水 記)